

# ヒバクシャ国際署名



HIBAKUSHA APPEAL

## 9月26日国連核兵器廃絶デー

### 「どこでも、だれでもできるヒバクシャ国際署名」行動を県下各地で

秋の国連総会では作業部会の勧告を受けて、核兵器禁止条約の交渉開始が議論されます。

「核兵器の禁止・廃絶についての条約締結へ話し合いがもたれるのは、戦後の国際政治で初めての事です。

昨年の第70回国連総会は、核兵器禁止条約の交渉開始をもとめる決議を多数で採択するとともに、「核兵器のない世界」を実現するための「具体的で効果的な法的措置」を議論する作業部会(OEWG)の設置を、7割をこえる加盟国の賛成で決定しました。そして、今年開催された作業部会は、2017年には核兵器禁止条約の交渉を開始するよう国連総会にたいして勧告しました。

こうした変化を生み出してきたのは、残虐な核兵器の禁止を訴え続けてきた被爆者と、わたしたちの声と行動にあります。そして、2016年世界大会は「作業部会が今秋の国連総会に対して、核兵器禁止・廃絶の条約の交渉開始を促す具体的な勧告を行うこと」を同時期開催の作業部会に要請し、会議にそれが紹介たように、国際政治と市民社会が協働が変化をつくりだしています。

核兵器禁止条約の交渉開始に背を向けているのは、アメリカ、ロシアなど核保有国やその同盟国です。核保有国はすべて、作業部会をボイコットしました。日本政府は作業部会の勧告を採択する際、棄権しました。

核固執勢力が世界大多数の世論によって追い詰められ結果として起きている動きです。

そういう中で、世界で数億の署名で核兵器禁止条約に消極的な核保有国、「核の傘」に依存する国々の国民にアピールする運動に発展させることを展望している「ヒバクシャ国際署名」は「核兵器のない世界へ」大きな役割をもちます。

被爆地長崎で「ヒバクシャ国際署名」は、世界の被爆者9人の呼びかけに並んで、長崎の被爆5団体が呼びかけています。長崎の平和団体の多くが参加している核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会へ国際署名協力の要請を行うなど、全県民的な取り組みを展望して進められています。個人で、団体で、地域で創意をもった署名運動を発展させましょう。

6・9行動、9/26核兵器廃絶デー、秋の国連総会へ「ヒバクシャ国際署名」のうねりをつくりだし核兵器禁止条約の交渉開始を求めていきましょう。

## 2016 World Conference against A&H Bombs 原水爆禁止2016年 世界大会の記録

核兵器のない平和で公正な世界のために



原水爆禁止世界大会実行委員会

原水爆禁止2016年世界大会記録集が届きました。世界大会の全貌が収められています。「核兵器のない世界へ」情勢や展望がつかめます。「草の根運動」をひろく知ることが出来ます。世界大会報告会などで必携の記録集です。(B5版 約200ページ) 頒価1,500円  
ご注文は長崎県原水協まで。

核兵器のない平和で公正な世界を 原水爆禁止長崎県協議会

Gensuikyo news 2016/08/07

〒850-0035 長崎市元船町5-11-402 TEL 095-895-9106 FAX 095-895-9102